

跡見学園

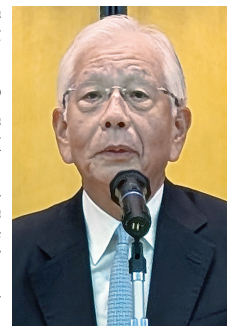
跡見学園（東京都文京区、跡見給理事長）が1月に学園創立150周年を迎えた。大きな節目を機に、跡見学園女子大学（小仲信孝学長）では▽理系学部の新設▽学部学科の再編▽東京都心へのキャンパス一元化—の三つの改革が始動。理系学部の新設に伴い、文京キャンパスに新学部棟を建

新学部棟の完成イメージ
（跡見学園提供）



跡見学園女子大学—初の理系学部開設 文京キャンパスに新学部棟

跡見理事長



設する。設計は鹿島が担当しており、施工者は未定となっている。2026年度の着工、27年度の竣工を目指す。

新学部棟には26年4月に新設する情報科学芸術学部が入る。同学部は文理融合

設計は鹿島、26年度着工へ

型の新しい理系学部で、情報社会に求められるAIやデータサイエンスの専門知識・技能を学ぶほか、新しい芸術表現であるメディアアートなどの学びを創出する拠点となる。

新学部棟は東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅の南西側、現在の文京キャンパス近隣（小日向3の17の8）に新築する。

同学園は5月10日、創立150周年記念ホームカミングデーを同キャンパスで開いた。冒頭、跡見理事長

は「本年は150周年という大変動きのある年である。この少子化の中で跡見学園がどう生きていくのか、何を目指して生きていくのかが重要である。跡見でなくてはならない人材に

しっかりと学びの場を提供し、共に考え進み、学生・生徒を世の中に送り出していきたい」とあいさつ。

小仲学長は「本学初めての理系学部として情報科学芸術学部を設置する。女子大学として時代の変化、社

会にに応じて教育内容を革新していくことが求められている。次の時代に向けて、さらなる進化を続けていきたい」と述べた。

大学は4年後をめどに新座キャンパス（埼玉県新座市）の全機能を文京キャンパスに集約する。現在、大

学1、2年生は新座キャンパス、3、4年生は文京キャンパスと分かれて学んでいる。文京キャンパスに機能を集約することで、学

